

# 心と体をリラックス！！

## 第13回親子短期保養プログラム in 奄美

2018年12月 3日

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故を受けて始めた保養プログラムです。第10回まででいったん終了しましたが、継続の声と支援の申し出を受け、少し形を変えて第13回を下記のように企画することができました。

放射能被害に対し収束はなく、今後も、大きな不安を抱えながら留まり続けなければならない方、これから起こってくるであろうさまざまなことを考え、押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょう。

そのような方々が少しでも被ばくの心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願っています。

今回は第9回保養を実施して下さった日本キリスト教団九州教区東日本大震災対策小委員会と九州教区奄美地区が再び受け入れてくださいます。

このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。

期 日	2019年 3月25日(月)～ 3月29日(金)
宿 泊	ホテルニュー奄美、サンフラワーシティホテル (鹿児島県奄美市)
参 加 費	1家族につき15000円
費 用	期間中の交通・食事・宿泊費などの必要経費は原則主催者負担。ただし、フリータイム時の食事・交通費、および、集合・解散地点までの交通費は各自ご負担下さい。
募集人数	親子8組 20名 (原則として小学生以上の親子)
参加資格	原子力災害が及んだ被災地在住、又は、避難者親子の方ならどなたでも参加できます。
引 率 者	布田 秀治(いずみ愛泉教会牧師、『いずみ』運営委員長)
プログラム	(天候などで変更になる可能性があります。)
	3月25日(月) 羽田空港11時00分 JAL 出発ロビー集合。羽田空港発12時00分→奄美大島空港着14時25分。あやまる岬。ホテル・名瀬教会夕食交流会。
	26日(火) マングローブパーク、ホノホシ・やどり浜、古仁屋へ。夕食交流会。
	27日(水) 加計呂麻島へ。海遊び。島尾敏雄文学碑など島観光。瀬戸内教会交流会。
	28日(木) 名瀬教会へ移動。分かち合い、自由行動(夕食は各自負担)。
	29日(金) 大島紬村、奄美大島空港発15時15分→羽田空港着17時05分。空港で解散。

**応募方法** 「いずみ」に必要事項、応募理由を明記して、メール、Fax または郵送にて応募下さい。  
**申込締切** 2019年1月15日(火)まで必着。ただし、定員を大きく超過した場合、締切り期限に係らず、予告なく募集を締切ることがあります(「いずみ」HP上にてお知らせします)。原則として、初めての参加者を優先しますが、定員に満たない場合などはリピーターのご応募も受付・選考いたします。

**参加者決定** 1月15日(火)以降、選考・決定し、参加される方には後刻必要な詳細を連絡します。

**問い合わせ・申し込み** 日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ 親子短期保養係  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6  
電話・FAX 022-796-5272 Eメールアドレス izumi@tohoku.uccj.jp

**主 催** 日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ・北日本宣教会議実行委員会  
委 員：布田秀治(長)、小西望、邑原宗男、松浦裕介、久世そらち、小西陽祐  
**協 賛** 九州教区東日本大震災対策小委員会、カトリック正義と平和仙台協議会